

教育あきた 8月号

2024 No.759

鹿角高等学校開校



鹿角高等学校校訓



生徒会長挨拶



主な内容

HOT VOICE	秋田県教育委員会教育長 安田浩幸	P 2
TOPICS	鹿角高等学校開校の紹介	P 3
事業紹介	生徒指導総合支援事業	P 4
TOPICS	特別支援学校就労促進フェア 心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解の推進事業	P 6
事業紹介	第50回全国高等学校総合文化祭	P 7
事業紹介	ビブリオバトル2024 in AKITA	P 8
事業紹介	みんなのキンビプロジェクト	P 9
事業紹介	メタバース×キンビ	P 10
S P O T	各企画展のご紹介	P 11

HOT VOICE

算数・数学から学ぶ

秋田県教育委員会教育長 **やす だ 安田** **ひろ ゆ き 浩幸**



「数がどんどん小さくなる」と言われて皆さんは「0に近づく」と「 $-\infty$ 」のどちらを連想するだろうか。一言でいえば $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n}$ と $\lim_{n \rightarrow \infty} (-n)$ の違いであるが、両方とも数が小さくなっていく点では同じである。数学の内容には、言葉にすれば曖昧で、正確な意味を捉えにくいものも多い。似たような例として「数を限りなく加え続けるとどうなるか」と問われれば膨大な値になるように感じるだろう。しかし、無限等比級数 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} + \dots$ の和が限りなく1に近づくように、増え続けるからといって必ずしも無限大にならないこともある。

そもそも「無限」は目に見えないところに存在するので概念が難しい。例えば、ゼノンのパラドックスをご存知だろうか。「アキレスが前方の亀の位置まで来たときに亀はすでに先に進んでいるので、アキレスは永遠に亀には追いつくことはできない」というものである。理論上は正しいように聞こえるものの、実際には起こりえない。このように言葉から真実を理解したり、逆に事実を正確に表現したりすることが難しい世界に我々はいる。

話は変わるが、算数・数学の考え方のよさが、日常においても有効であると感じる場面は少なくない。そんな例をいくつか紹介しよう。

中学校1年生の数学の教科書には、図1のような「水汲み問題」が載っている。A地点にいる人が川で水を汲んでB地点の家に帰るとき、川岸のどの地点で水を汲めば最短になるかというものだ。同じような考え方の問題で、図2にあるような9個の点をすべて通るように、4本の直線で一筆書きできるかというものもある。

(図1)



(図2)



ほとんど答えを教えるようなものだが、解法のヒントは「枠にとらわれない」、「はみ出してみる」ことである。画家の岡本太郎は「四角い枠にこだわるな。キャンバスからはみ出せ」というメッセージを残しているが、議論が行き詰まったときは、固定観念から思考を解放し、枠の外側に目を向けることをお勧めしたい。

確率を勉強すると、直感や思い込みが間違いだと気付かされることも多い。例えば「バースデー問題」。ランダムに50人を選ぶと、同じ誕生日のペアが出る確率は97.04%にもなる。信じられないが事実である。他に「モンティ・ホール問題」などが有名である。「扉が3つあり、1つは正解の扉で2つは不正解。挑戦者はこの中から正解だと思う扉を1つ選ぶ。司会者（モンティ）は正解の扉を知っており、選ばれなかった2つの扉のうち不正解の扉の1つを選んで開けてみせる。その後、挑戦者には開いていないもう1つの扉に変えてもいいというチャンスが与えられる」というもの。変えるか変えないか、あなたならどちらを選ぶか。変えても変えなくても正解の確率は同じだと答える人は多いが、実際は変えた方の確率が2倍になる。何事も思い込みで判断しないようにしたいものだ。

図形の問題を解くときに有効なのが補助線である。線を1本引くだけで状況が激変する。物事がしっくりこないときに何か一つ加えることで一気に改善することはよくあるが、それに似ている。ちなみに、秋田県総合教育センター発行の「あきたのそこちから」（HPから閲覧可能）の最後には、補助線を使う図形問題で、私がこれまで出会った中で最もシンプルでエレガントな問題（ラングレーの問題と呼ばれている）が掲載されているので、時間のある方はぜひ挑戦してみてほしい。

論理的な思考力だけでなく、手法や考え方など算数・数学から学ぶべきものは限りなくある。

令和6年4月
開校

秋田県立鹿角高等学校

令和6年4月、鹿角小坂地区に、花輪高等学校、十和田高等学校及び小坂高等学校の3校が統合し、鹿角高等学校が誕生しました。グローバル化の時代に対応できる広い視野と、持続可能な地域社会づくりへ参画しようとする高い志をもち、多様な人々と協働して未来を切り拓くたくましい人間の育成を目指します。

○ 校名・校歌・校章について

「鹿角高等学校」という校名には、地区を象徴する高等学校という意味が込められています。また、校章は、鹿の角を図案化したものに、鹿角市の木である「ナナカマド」の葉を配することで地域性を表しています。3校それぞれの伝統を継承しながら、伸びやかに逞しく成長していく生徒の姿と、地域の人々からも親しまれ、地域の活性化に貢献する鹿角高校の姿が一目で分かるようなデザインとなっています。



作者 北野 公一
補作 青木 隆吉

鹿角高等学校 校歌	
三 夢を湛える めざす未来を おお 創造の 友と励みて 我らの誇り	二 希望は遙か 嶺より高い おお 青雲の 我ら集いて 真理と友愛を
十和田湖は 映し出す よるこびを 分かちあう 鹿角高校	八幡平 志 ほほえみを 交わしあう ともに求めて
一流れ清らか 平和の息吹 おお 学舎の 明日の世界に 心と技を	米代は 宿しゆく かがやきを 届けよう ともに鍛えて
作詞 小野寺 満 補作 菊池 一二三 作曲 四反田 素幸	

○ 教育目標

- ・主体的に学びに向かう態度と、学んだことを活用する力を身に付け、社会的・職業的に自立し、社会に貢献することができる人間を育成する。
- ・課題を多面的に捉え、その解決に向けて挑戦し続けようとする姿勢を身に付け、社会の変化に主体的かつ柔軟に対応できる人間を育成する。
- ・ふるさとの伝統や文化を理解しようとする態度を身に付け、多様な文化や価値観をもつ人々と互いに尊重し合い、共生することができる、感性豊かな人間を育成する。

○ 学科とコースについて

1年	2～3年
普通科 (5学級)	「人文探究コース」 ⇒ 難関大学や外国語系学部を含めた国公立大学等の文系分野への進学を目指します。
	「理数探究コース」 ⇒ 難関大学や医学部医学科を含めた国公立大学等の理系分野への進学を目指します。
	「未来創造コース」 ⇒ 将来取り組みたい分野に関する知見を高め、四年制大学等への進学や民間企業・公務員への就職を目指します。
産業工学科 (1学級)	⇒ 工業の様々な内容を総合的に学習し、環境産業やものづくり企業等への就職や工学系大学等への進学を目指します。

生徒指導総合支援事業

本県では、悩みや不安を抱えた児童生徒等に対して適切な支援ができるよう、地域や学校の実情に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を配置するとともに、電話やSNSを活用して相談に対応する「生徒指導総合支援事業」を実施しています。こうした取組を一層充実させることにより、不登校やいじめ等の問題行動の未然防止や改善を図ることを目指しています。



小学校生徒指導研修実施事業

- ・ 小学校教員を対象とした小学校生徒指導研究協議会を開催し、積極的な生徒指導の推進に向けて、スクールカウンセラーと効果的な連携について話し合います。
- ・ 生徒指導提要に示された「発達支持的生徒指導」や「課題予防的生徒指導」への理解を深め、未然防止の活動を交流することで、学校の新たな取組につなげます。

中学校スクールカウンセラー配置事業

- ・ 心理についての専門家であるスクールカウンセラーを配置し、不登校やいじめ問題等の相談に乗ることで、学校における教育相談体制の充実を図ります。
- ・ 公立100中学校に配置し児童生徒及び保護者等のカウンセリングや未然防止に関わる活動を行います。



広域カウンセラー配置事業

- ・ 公立小学校の教育相談等に対応するため、北・中央・南の3教育事務所にエリアカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。
- ・ 公立小・中学校及び県立学校で突発的な事案により、児童生徒等への心のケアが必要になった場合は、緊急支援カウンセラーを派遣し、緊急支援を行います。

スクールソーシャルワーカー活用事業

- ・ 児童生徒を取り巻く環境を改善するため、学校と関係機関との連携を促進し、問題行動等の解消を図るため、県内7か所に配置しています。
- ◆ 申込みは、「美の国あきたネット」に掲載している「スクールソーシャルワーカー活用リーフレット」をご覧ください。



SNS相談事業

- ・ SNSを活用した相談を実施し、生徒等の相談に応じ、悩みや不安の解消を図ります。
- ・ 相談対象者は、公立中学校及び義務教育学校後期課程の生徒です。
- ・ 8月28日（水）～9月22日（日）までの、日曜日と水曜日に実施します。
- ・ 詳細については、各中学校等を通じてお知らせします。



中学校教員が、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーとともに効果的な連携の在り方について協議しています



電話相談事業

- ・ フリーダイヤルの相談電話を設置し、児童生徒及び保護者等の相談に応じ、悩みや不安の解消を図るため4か所に設置しています。

子どもの悩みに関する主な電話相談窓口

子どもや保護者の方が抱える悩みや心配事について相談できる窓口はたくさんあります。
いじめや不登校などの悩みは独りで抱え込まず、まずは電話してください。

窓口の名前	相談の内容	受付時間	電話番号	担当機関名
24時間子供 SOSダイヤル	いじめ問題等に悩む子どもや保護者等の相談	365日 24時間	0120-0-78310	県教育委員会
いじめ緊急 ホットライン (すこやか電話)	いじめ問題等に悩む子どもや保護者等の相談	月曜～金曜 8:30～17:00 祝日を除く	0120-377-914 0120-377-904 0120-377-943	北教育事務所 中央教育事務所 南教育事務所
すこやか電話	悩みや不安を抱えている子どもや保護者等の相談	月曜～金曜 8:30～17:00 祝日を除く	0120-377-804	総合教育センター
やまびこ電話	子どもからの相談、家族や地域住民等からの少年の非行等に関する相談	月曜～金曜 8:30～17:15 夜間休日は当直員が対応します。	018-824-1212	警察本部
子ども家庭 相談電話	18歳未満の子どもに関する様々な相談	365日 24時間	0120-42-4152	子ども・女性・障害者相談センター (中央児童相談所)
児童相談所 電話相談	育児や子育てなどの悩みをもっている人の相談	月曜～金曜 8:30～17:15	0186-52-3956 018-827-5200 0182-32-0500	北児童相談所 子ども・女性・障害者相談センター (中央児童相談所) 南児童相談所
こころの 電話相談	生活の中で生じる様々なこころの悩みに関する相談	月曜～金曜 9:00～16:00 土・日・祝日 10:00～16:00	018-831-3939	子ども・女性・障害者相談センター (精神保健福祉センター)
こどもの人権 110番	いじめ、虐待など子どもをめぐる人権問題に関する相談	平日 8:30～17:15	0120-007-110	秋田地方法務局
秋田いのちの 電話	こころの危機を抱えている人々の悩みをもっている人の相談	毎日 12:00～20:30 次の期間を除く 12月29日～1月3日	018-865-4343	いのちの電話事務局
秋田県教育協会 電話相談 ※学校を退職した元教員や心理の専門家等が相談員	子どもへの対応で、いろいろな悩みをもっている保護者等の相談	月曜～金曜 11:00～14:00 次の期間を除く 土・日・祝日 8月10日～8月16日 12月27日～1月4日	018-827-4453	秋田県教育協会

誰にも話せない、誰にも相談できない。そんなときは電話してみませんか。

特別支援学校就労促進フェア

特別支援学校生の就労支援と一般企業や地域の皆様の障害者理解の促進を図るため、県内3地区で就労促進フェアを実施します。

技能競技会「錬成会」では、「ビルクリーニング」「喫茶サービス」「縫製」「ワード・プロセッサ」の競技を行い、各校の選手が技能を競い合います。また、生徒が日々の学習の成果と『働きたい』という思いを発表します。

フェア当日、各会場にお越しいただき、生徒たちの就労に向けた思いや各競技に向き合う姿をぜひご参観ください。



丁寧な接客を目指して
～喫茶サービス競技～

〈開催日と開催場所〉

県央地区：令和6年11月26日（火）秋田県総合教育センター

県北地区：令和6年11月29日（金）北秋田市民ふれあいプラザコムコム

県南地区：令和6年12月13日（金）大曲交流センター



生徒たちの『働きたい』、
卒業生の『働きたい』を
応援してください。

問合せ先：教育庁特別支援教育課 TEL018-860-5135

心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解の推進事業

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方をもち全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。



本事業は、昨年度から大仙市をモデル地区として取り組んでいます。モデル校の大仙市立内小友小学校と秋田県立大曲支援学校は、長年の交流及び共同学習の実施により、同年代の友だちとして関わりを深め、共に支え合う意識が育まれています。また、交流を重ねることで、友だちと一緒に楽しく過ごすために、自分ができることは何かを考えるなど、相手を思いやり、行動する姿につながっています。



【よろしくねの会 みんなでおどろう】

今年度の新たな取組として、交流及び共同学習を保護者や地域の方へ公開し、児童の様子を見ていただく機会を設けました。5月31日（金）の会には、18名の保護者が、歌やダンス、学校探検、手形アート制作などで、児童同士が笑顔で触れ合い、楽しく学ぶ姿を参観しました。2回目は、11月8日（金）に行われます。今後も、子どもたちの生き生きとした様子をたくさんの方に参観していただき、地域の障害理解の推進を目指していきます。

第50回全国高等学校総合文化祭

文化庁から通知された開催地の決定を受け、第1回秋田県実行委員会が開かれました。生徒実行委員会も結成され、準備が本格的に始まりました。

■実行委員会について

6月7日に秋田県庁第二庁舎で秋田県実行委員会設立会及び第1回秋田県実行委員会が開催されました。開催期間及び会場が承認されたほか、オープニングで器楽・管弦楽部門、吟詠剣詩舞部門のステージ発表や、公募応募作品の表彰が行われました。

○開催期間

令和8年7月26日～8月1日（7日間）
総合開会式（ミルハス）と、パレード
（広小路）は7月26日に開催されます。

○部門開催市

- 【秋田市】吹奏楽、器楽・管弦楽、
マーチングバンド・バトントワリング、
書道、写真、文芸、自然科学、茶華道、
情報、特別支援学校
- 【大館市】演劇、小倉百人一首かるた
- 【能代市】弁論
- 【潟上市】新聞
- 【由利本荘市】日本音楽、囲碁、将棋
- 【大仙市】合唱、放送
- 【横手市】美術・工芸
- 【湯沢市】吟詠剣詩舞、郷土芸能

○生徒応募作品最優秀賞（所属は応募時）



【大会テーマ】秋田高校 森川真琳
輝く稲穂に廻らす想い おがれ若人 美の国秋田に今集え

【大会イメージソング（歌詞）】湯沢高校 廣田蒼唯
タイトル「君を待つ世界」

【大会テーマ毛筆表現】
能代松陽高校 池田 月
輝く稲穂に廻らす想い
おがれ若人 美の国秋田に今集え

【大会シンボルマーク・大会愛称ロゴ原画】
秋田北高校 安藤美心
2026
あきた総文
AKITA 2026

※【大会イメージソング（原曲）】は、9月6日まで募集しています。

■生徒実行委員会について

一昨年度から生徒準備委員会が組織され、中高生が主体となって準備を進めてきました。今年度からは生徒実行委員会が結成され、活動が本格化しています。委員は、県立・市立・私立高等学校及び県立特別支援学校高等部（計21校）に在籍する1・2年生63名で構成されます。7月6日には、生徒実行委員会委嘱状交付式及び第1回実行委員会が開催され、総務・パレード部会、総合開会式・国際交流部会、広報デザイン・記録イベント部会の3グループに分かれて話し合いがもたれました。また、7月31日から開催された「清流の国ぎふ総文2024」に参加し、岐阜県、香川県の生徒実行委員会の高校生と交流してきました。

生徒実行委員会の活動の様子はウェブから
ご覧ください



あきた総文2026ウェブサイト 大会公式Instagram

ビブリオバトル 2024 in AKITA

「ビブリオバトル」とは？

ルールは簡単！「読みたい！」と思わせた人が勝ち

発表者（バトラー）がお薦めの本の魅力を5分間で紹介し、2～3分のディスカッションの後、聞いていた人たち全員で「一番読みたくなった本」（チャンプ本）を投票で決める知的書評合戦です。

ビブリオバトル 2024 in AKITA

秋田県では中高生を対象に、県内7か所で地区大会を開催し、地区大会を勝ち抜いた生徒たちによる県大会を開催しています。出場できるのは中高生ですが、どなたでも観覧いただけます。ぜひ、「チャンプ本」を決める投票にご参加ください。

【地区大会】

各地区とも午前：中学生の部、午後：高校生の部

中高生バトラー募集中！

地 区	開催日時	会 場	問 合 わ せ
北 鹿 大 会	10月26日(土)	大館市立中央公民館	北教育事務所 0186-62-1217
能 代 大 会	11月2日(土)	能代市立能代図書館	
秋 田 大 会	10月19日(土)	ふれあーるAKITA	生涯学習課 018-860-5184
由利本荘大会	10月6日(日)	由利本荘市文化交流館カダーレ	
大 仙 大 会	10月27日(日)	大仙市大曲交流センター	南教育事務所 0182-32-1101
横 手 大 会	10月26日(土)	横手市生涯学習館Ao-na	
湯 沢 大 会	11月9日(土)	湯沢市役所	

【県大会】

日時：令和6年11月30日（土）

会場：秋田拠点センターアルヴェ

※時間などの詳細については決まり次第、
美の国あきたネットでお知らせします。
また、昨年度の県大会の様子もHP
からご覧いただけます。

ビブリオバトル
in AKITA の詳細は
こちらから→



昨年度のビブリオバトル県大会の様子

～であう・まなぶ・つながる～「みんなのキンビ」プロジェクト

令和6年度 ☆プロジェクトテーマ「アート×高齢者×Museum」

本プロジェクトは、これからの博物館に新たに求められる社会や地域における様々な課題に対応する取組、博物館の組織連携・ネットワークの形成を通じた課題解決への取組への支援を通じて、博物館の機能強化の推進を図る「Innovate MUSEUM事業－地域課題対応支援事業」（文化庁）に採択され、近代美術館を中核に令和5年度から取り組んでいるものです。

目的

近代美術館を中核に、多様な主体との連携・協働により、地域課題に対応しながら、年齢や障害の有無等にかかわらず、アートを通じて多様な人々が出会い、学び合う場を創出するとともに、「障害者の生涯学習」の促進や地域のつながりづくり、地域活力の向上に寄与します。

背景

改正博物館法施行（令和5年4月）によって、美術館や博物館には新しい価値の創造や、社会包摂を含む多様な地域課題への貢献等の役割が求められています。

誰もが生涯を通じて文化や芸術を楽しみ、地域や他者とながらで心豊かな生活ができるように、多様な人との対話の場や社会参画の機会をつくります。

専門機関

NPO法人アーツセンターあきた
NPO法人アートリンク うちのあかり
秋田県産業技術センター

- プロジェクトのシンクタンク
- スキームの提案
- プロジェクトの質の担保

学 校

小学校、中学校
義務教育学校
高等学校、特別支援学校等

- 「交流及び共同学習」の実施主体
- プロジェクトの協働

行 政

秋田県
秋田県教育委員会
横手市

- ファシリテーション
- 協働・実践の環境づくり
- 気運の醸成

キンビ

秋田県立近代美術館

- プロジェクトの中核館
- 取組のマネジメント

1 しかける
プロジェクトをうごかす組織づくりと
ネットワークの構築

- 多様な主体が協働する「実行委員会」
- シンクタンク「キンビ研究会」
- キンビコミュニケーターの育成…「まなび」と「実践」
- 県立4博物館施設のネットワークによる取組の横展開

2 うごかす
地域とのアートプロジェクトの実践

- 認知症当事者を含む高齢者を対象としたアート鑑賞プログラム
- 教育的・社会的支援の必要な子どもたちを対象とした「キンビ美術部」
- アートを通して「共生社会の担い手」を育む「交流及び共同学習」
- 産業、福祉、教育など多様な機関が開発・展開する「鑑賞支援ツール」
- 「メタバース×キンビ」を用いた「鑑賞・交流プログラム」

3 のこす
プロジェクトのアーカイブ化と公開

- AR機能を活用した実施報告書の作成と公開

4 ふりかえる
評価とフィードバック

- 実行委員会①…計画の策定、評価方法、目標の共有
- 実行委員会②…評価とフィードバック、次年度に向けた改善提案

令和6年度の
主な事業紹介

キンビコミュニケーター事業

キンビコミュニケーター*を育成します。
＜「まなび」と「実践」の場を提供＞

※キンビコミュニケーター：人とアートのつなぎ手。能動的に活動する実践者として、美術館を拠点に「出会い」や「学び」の機会を作り出していく存在。現在、高校生から70代までの23名が参加。

認知症当事者含む高齢者を
対象としたアート鑑賞プログラム

美術館の資源を活用し、高齢者（認知症当事者含む）とその家族、介護者を対象にアート鑑賞プログラムを実施します。

キンビ美術部

教育的・社会的な支援が必要な子どもたちを対象に、アーティストとの交流や県立博物館施設での教育普及プログラムの体験等を開催します。

交流及び共同学習

校種や学齢等を超えて、アートを通じた交流及び共同学習を実施しその成果や記録を、「みんなのキンビ展」で公開します。

「メタバース×キンビ」による
鑑賞・交流プログラム

県内外の児童生徒がそれぞれの学校にしながら、仮想近代美術館「メタバース×キンビ」で出会い、鑑賞・交流するプログラムを実施します。

鑑賞支援ツール

県産業技術センター、企業、県立視覚支援学校が協働し、令和5年度に開発した鑑賞支援ツールの改良に取り組みます。より多様な人が鑑賞できるもの、より楽しめるもの、学校や福祉施設等の教材として活用いただけるものを目指します。

「みんなのキンビ展」Ⅱ

【テーマ】 いっしょにつくる
【会 期】 令和7年2月8日（土）～3月9日（日）
【趣 旨】 昨年に引き続き、「みんなのキンビ」プロジェクトの成果展を開催します。プロジェクトの成果物の展示、ワークショップの企画・開催はキンビコミュニケーターや市民と協働で行います。

「出前美術館 みんなのキンビ展」

「あきた総合支援エリア かがやきの丘」で当館の所蔵作品を展示し、秋田県立きらり支援学校、秋田県立視覚支援学校、秋田県立聴覚支援学校の生徒、保護者、地域の方に鑑賞していただきます。

あきた県庁出前講座で「メタバース×キンビ」を体験してみませんか!

秋田県生涯学習推進本部が主催する「あきた県庁出前講座」は、多様な学習機会の充実を図ることを目的にしており、県民の方ならどなたでも無料でご利用いただけます。

このたび、この講座メニューとして、“No.166「メタバース×キンビ」を体験しよう!”が新たに開設されました。仮想近代美術館でのコレクションの新たな鑑賞をぜひ、ご体感ください!

講座の概要

対 象

最新のデジタル技術で構築されたもう一つの近代美術館「メタバース×キンビ」(令和6年4月公開)の紹介と実機体験(VR)を行います。

どなたでもお申し込みいただけます。
※会場の設備や機器に要件がありますので、事前にご相談ください。

利用された方の声をご紹介します!

【利用者アンケートより その1】

- ◆利用 社会福祉施設(県央)
- ◆参加人数 30名
- ◆講座の内容 とても満足
- ◆受講のしやすさ とても満足

Q.講座を選んだ理由や受講内容をどう生かしていきたいか教えてください。

- 主に身体障害の方が多く、車椅子を利用されている方が大半です。
- 知的・精神障害の方も利用されており、外出支援をしているものの、美術館等へ出かける機会はない現状です。
- 生活に潤いを持っていただけるよう、美術にも興味をもっていただき、外出しなくても美術鑑賞ができるよい機会と思い受講いたしました。
- 今回の講習を通じて、パソコンでも近代美術館を体験できることを知ってもらい、趣味活動に活用していけたらよいと感じました。

Q.受講しての感想やお気づきの点などありましたら、教えてください。

- 興味を持たれた利用者さん一人ひとりに、短時間でしたが体験してもらうことができました。
- 操作が難しい方には補助をしていただいたり、専門的な解説を聞くことができましたり、作品をより深く鑑賞することができました。
- 今回は貴重なお時間をいただきありがとうございました。



【利用者アンケートより その2】

- ◆利用 県立高等学校(県南)
- ◆参加人数 25名
- ◆講座の内容 とても満足
- ◆受講のしやすさ とても満足

Q.講座を選んだ理由や受講内容をどう生かしていきたいか教えてください。

- 3年生のデジタル探求コースの探求活動において、メタバースをテーマにする生徒がいることから、どのようなものが体験するために受講しました。
- 教員も体験してみて初めてわかったことがあり、生徒にとっても探求活動に大変参考になったようです。

Q.受講しての感想やお気づきの点などありましたら、教えてください。

- 生徒も教員も、非常に興味深い体験ができました。
- VRでメタバース空間を体感することは、没入感やリアリティといったところが魅力だと感じました。
- 絵画を至近距離から鑑賞するなど、現実では体験できないことを体験できるところも魅力でした。
- これからはさまざまな分野でVRやメタバース空間が活用されると思います。どのように活用できるか、アイデアのヒントをいただくことができました。



あきた県庁出前講座 No.166 「メタバース×キンビ」を体験しよう! お申し込み方法について

1 事前相談

日程や内容、要件等について、教育庁生涯学習課まで事前にご相談ください。

2 申 込 み

教育庁生涯学習課までメール・FAX等で「申込書」を送付ください。

問合わせ先

教育庁生涯学習課 TEL:018-860-5183 FAX:018-860-5816
メール:kyou-shougai@pref.akita.lg.jp



秋田県立近代美術館開館30周年記念特別展

「金曜ロードショーとジブリ展」

「風の谷のナウシカ」に始まり、数々のスタジオジブリ作品を放映してきた「金曜ロードショー」。本展では、その歩みをたどりながら、スタジオジブリ作品の魅力を紹介します。

映画の世界に飛び込めるような展示空間や、圧巻のクオリティで“腐海”を表現した「風の谷のナウシカ王蟲の世界」などもご覧いただけます。

会 期 令和6年10月12日(土)～令和7年1月13日(月・祝)
休館日：令和6年12月30日(月)～
令和7年1月1日(水)の3日間
開館時間 9:30～17:00(最終入館16:15)
会 場 秋田県立近代美術館 5階・6階展示室(横手市)
観 覧 料 (土日祝)：一 般 1,800円、中高生 1,500円、
小学生 900円、未就学児 無料
(平 日)：一 般 1,500円、中高生 1,200円、
小学生 600円、未就学児 無料
※障害者手帳またはミライロID提示の方とその介添者1名まで無料
※公式オンラインチケットおよび日テレゼロチケ、ローソンチケットでの日時指定販売のみになりますのでご注意ください！
主 催 金曜ロードショーとジブリ展 秋田展実行委員会
(ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)
お問合せ 秋田県立近代美術館 Tel.0182-33-8855



© Studio Ghibli



秋田県立近代美術館開館30周年記念コレクション展第2期

水辺の風景

海、川、湖などの豊かな水源と、四季折々の雄大な自然に恵まれた日本では、古来より「水辺」が、人々の生活にかかせない場所であるとともに、文化・芸術の主題として多く取り上げられてきました。

本展では、近代美術館のコレクションを中心に「水辺の風景」が表された日本画、工芸、版画の秀作約40点をご紹介します。

会 期 7月5日(金)～9月16日(月・祝)
9:30～17:00(最終入館16:30)
会 場 秋田県立近代美術館6階展示室(横手市)
観 覧 料 無料
関連イベント 担当学芸員によるギャラリートーク
8月17日(土)
各日とも14:00～14:30
お問合せ 秋田県立近代美術館 Tel.0182-33-8855



福田豊四郎《水辺の夏》1931年

メタバース(VR)空間でも本展出品作の一部をご覧いただけます。詳しくは当館HPへ！

企画展

稲穂の詩

うた
～秋田と米づくり～

2024
9.28_土
▼
12.1_日

【会場】秋田県立博物館 企画展示室

【開館時間】午前 9:30～午後 4:30（11/1から午後 4:00まで）

【休館日】月曜日（休日と重なった場合は次の平日）

〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山 52

Tel. 018-873-4121 Fax. 018-873-4123 <https://www.akihaku.jp/>

後援：公立大学法人秋田県立大学

協力：秋田県農業試験場

秋田県総合食品研究センター

JAグループ秋田・JA全農あきた

秋田県農業機械化協会

秋田県立金足農業高等学校



秋田県立博物館

■「教育あきた」は、県の教育関連施設や市町村の公民館、図書館等に設置しています。
また、県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」からもご覧いただけます。

この印刷物は4,800部作成し、印刷経費は1部当たり21.99円です。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

令和6年8月23日「教育あきた」No.759

発行・秋田県教育委員会

編集・秋田県教育庁総務課

〒010-8580 秋田市山王三丁目1-1

TEL.018-860-5112 FAX.018-860-5851

Eメール soumu-edu@pref.akita.lg.jp

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/education>